教育•保育給付認定(変更)申請書

与謝野町長 様

私はこの申請から教育・保育給付認定期間終了までの間、次に掲げる事項について、同意します。

- (1) 町が施設型給付費・地域型保育給付費等の教育・保育給付認定に必要な市町村民税の情報(同一世帯者を含む。)及び世帯情報を閲覧すること
- (2) (1) の情報に基づき決定した利用者負担額について、特定教育・保育施設等に対して提示すること

以上の事項に同意し、次のとおり、施設型給付費・地域型保育給付費に係る教育・保育給付認定を申請します。

フリガナ		性別・続柄	生年月日	年 齢			
申請		男・女	年 月 日				
児童氏名		第 子	4 7 L	歳			
フリガナ		続 柄					
保護者 氏 名			(自宅・携帯(父・母)・その他)				
	(1)	父・母					
		その他 ()	世帯内における障害者(児)の該当の有無				
	※自署又は記名押印	(3)13 (□無 □有(氏名:)			
		ひとり親世帯の該当					
	- 与謝野町字	□ 該当					
住 所		生活保護の適用					
			口 適用あり				
			(年月日保護開始))			
保育の希望 の有無 (〇で囲む)	有 保護者の就労や疾病などの理由し	認 定 者 番 号					
	希望する場合(11~2まで記入	※既に教育・保育給付認定を受けている場合 い。	に記入してくださ				
	無 幼稚園等の利用を希望する場合						

1 利用を希望する期間・希望する施設名

希望する				・就学前まで					
利用期間		年 月 日	から	• 年	月 日まで				
利用曜日	月・火・水	· 木 · 金 ·	· ±	利用時間	平 日 土曜日	時 時	分から 分から	時 時	分まで 分まで
利用を希望す る施設名		幼稚園 認定こ 保育所	ども園		宅職場に近い	□兄弟	等入園)

2 保育の利用を必要とする理由(『保育の希望の有無』欄に『有』に『O』をつけた方のみ記入。)

続柄	保育の認定基準	具体的な状況	認定区分
父	□就労 □疾病·障害 □介護等 □災害復旧 □求職活動 □就学 □その他()		□ 標準 □ 短時 □ その他
母	□就労 □妊娠·出産 □疾病·障害 □介護等 □災害復旧 □求職活動 □就学 □その他()		□ 標準 □ 短時 □ その他
	□就労 □妊娠·出産 □疾病·障害 □介護等 □災害復旧 □求職活動 □就学 □その他()		□ 標準 □ 短時 □ その他
	□就労 □妊娠·出産 □疾病·障害 □介護等 □災害復旧 □求職活動 □就学 □その他()		□ 標準 □ 短時 □ その他

【記入上の注意】

(表面)

- 1 記載の内容を確認のうえ、「申請児童氏名」の欄は「氏名」にふりがなを付し、「性別・続柄」、「生年月日」、「年齢」の欄は該当する ものを〇で囲んで、必要な事項を記入して下さい。「保護者氏名」、「住所」、「連絡先」欄についても、全て記入して下さい。
- 2 「世帯内における障害者(児)の該当の有無」の欄は、申請児童の家族に係る障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳)または特別児童手当の受給または障害基礎年金の受給の有無について、該当するものにチェック(☑)し、該当者の氏名を記入してください。
- 3 「ひとり親世帯該当」、「生活保護の適用の有無」については、該当する場合はチェック(☑)し、必要な事項を記入してください。
- 4 「保育の希望の有無」の欄は保育所等の施設と幼稚園等との併願を希望する場合は『有』を〇で囲んでください。ただし、それぞれ の施設の申し込みを行う必要があります。また、入所(入園)の調整については順番に行うため、希望する施設に定員を超えた申し 込みがある場合、希望に添えない可能性があります。
- 5 「認定者番号」の欄は、申請児童が既に施設型給付費・地域型保育給付費の教育・保育給付認定を受けている場合は、当該申請児童 に係る認定者番号を記入して下さい。
- 6 1 「利用を希望する期間・希望する施設名」の「利用を希望する期間」の欄は、小学校就学始期に達するまでのうち特定教育・保育施設の利用を希望する期間を、「利用曜日」と「利用時間」の欄は、保育の実施が必要な曜日を〇で囲み、その時間の範囲を記入して下さい。(「保育の希望の有無」の欄で「有」を〇で囲んだ場合は、保育の実施が必要な理由に該当すると見込まれる期間の範囲内で記入して下さい。)
- 7 **1** 「利用を希望する施設名」の欄は、希望する施設名を記入し、また、その施設を希望する理由の□にチェック(☑)し、「その他」の場合はその理由を記入して下さい。
- 8 **2** 「保育の利用を必要とする理由」の欄は、「保育の希望の有無」の欄で「有」を〇で囲んだ場合に記入して下さい。 (「無」を〇で囲んだ場合は記入の必要はありません。)
- 9 保育の認定基準は、次の表に掲げるような場合です。

保育の認定基準

保育の必要性の認定を受ける場合は、両親いずれも(両親と別居している場合には児童の面倒を見ている者)が次のいずれかの事情にある場合です。

- (1) 就労 1月において、48時間以上労働することを常態としている場合
- (2)妊娠・出産 児童の保護者が出産の前後のため、その児童の保育ができない場合
- (3)疾病・障害 児童の保護者が病気、負傷又は心身に障害があるので、その児童の保育ができない場合
- (4)介護等 児童の保護者がいつも同居又は長期入院・入所している親族の介護・看護にあたっているため、その児童の保育ができない場合
- (5)災害復旧 火災や風水害や地震などにより、居宅を失ったり破損したりしたため、その復旧の間、児童の保育ができない場合
- (6) 求職活動 児童の保護者が求職活動(起業準備を含む)を行っているため、その児童の保育ができない場合
- (7)就学 児童の保護者が就学(職業訓練校等における職業訓練を含む)のため、その児童の保育ができない場合
- 10 **2** 「保育の利用を必要とする理由」の欄は、両親及び同居している両親以外の同居している祖父母(64歳以下の方のみ)ごとに、 児童を保育できない理由を9の表(1)~(7)のいずれの掲げる場合に該当するかを判断して、該当する全ての口にチェック(🗸)し、 かつ、その具体的な状況について、同欄に記入して下さい。なお、(1)~(7)の場合以外で児童を保育できない理由がある場合(親の いない家庭など)は「その他」にチェック(🗸)し、内容を()内に記入して下さい。

(留意事項)

教育・保育給付認定(保育の必要性の認定)及び幼稚園・保育所・認定こども園への入園入所等については、

- ①保育の認定基準に該当しないため、希望する認定が受けられない場合
- ②希望者が多数いるため希望する施設に入園できない場合
- ③保育の認定基準の該当事由により利用期間の希望に添えない場合 がありますので、あらかじめご承知下さい。

受付年月日 年 月 日

	認定者番号	認定区分					
可 ・ 否 年 月 日認定	(否とする理由)		□ 1 □ 2 □ 3	:号(‡		時間 時間	
給付(入園)の可・否		入園施設 支給期間					
可 ・ 否 年 月 日認定	(否とする理由)			自至	年 年	月月	日日